

## 学習内容報告書 フォーマット 1

学校名	佐世保市立宇久小学校
授業者	中道 洋太

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

宇久の未来を考えよう～宇久のよさを生かした特産品開発～

#### 1-2. 学年

5・6年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

「宇久・実践」

#### 1-4. 単元の概要

これまで、児童は「未来に残したい宇久の宝」を合言葉に、宇久のよりよい未来の姿について学習してきた。一昨年度より、海に力点を置き、「海から学ぶプロジェクト」と題し、探究学習に取り組んできた。4月のオリエンテーションでは、宇久の「良さ」や「課題」、「課題解決のためのアイデア」についての話し合いをワークショップ形式で行い、お互いの考えを交流した。

そこで出た「宇久の特産品開発」というアイデアがきっかけとなり、海水から塩を作る活動に取り組んだ。さらに、その塩の活用方法として「塩アイス作り」に取り組み、海洋資源豊かなふるさとを島内外にPRするために活動した。塩アイス作りにあたっては宇久町観光協会や（株）前田冷菓に協力をいただき、宇久の魅力が伝わる商品となるよう工夫した。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

児童は、昨年度より宇久の海水を用いた塩作りに取り組んできており、今年度はその塩を生かした特産品開発を通じて島の良さを島内外に広く知らせたいという願いをもっている。大浜海水浴場で海水を汲み、運搬する活動は重労働だか、美しい海の景観に触れ、きれいな海で活動することで、海洋資源の豊かさに気付き、感謝する心が高まると考えられる。また、特産品開発を通して、児童自身が自分たちの手で未来をつくっていこうとする意欲や態度を地域の方々に伝え、地域全体としての海洋環境保全についての意識を高めてきたい。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・身近な海の課題の中から、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力。
- ・魅力ある特産品作りのために、表現方法や伝達の仕方を工夫する力。

1-7. 単元の展開（全15時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
3	「宇久の未来について考えよう」オリエンテーション	<p>○ 昨年度の活動を踏まえて、宇久の宝や課題を付箋に記入。KJ法で、整理し、これからの学習課題を絞り込んだ。</p> <p>評価：宇久の海の宝や課題に自分なりに気づき、友達と意見を交流させることができたか。</p>
5	海水採取・塩作り	<p>○ 「宇久産塩」作りのために海水を採取し、ろ過、加熱などの処理を経て塩作りを行った。</p> <p>評価：塩作りの工程について理解し、特産品開発に関心をもつことができたか。</p>
5	塩アイス作り・塩アイスパッケージデザイン	<p>○ 自分たちで作った塩を使った塩アイス作り、パッケージデザインに取り組んだ。</p> <p>評価：塩アイスの作り方を学び、理解することができたか。宇久の魅力を伝えるパッケージデザインを考え、表現することができたか。</p> <p>外部連携：観光協会、(株)前田冷菓</p>
2	塩アイス販売	<p>○ 塩アイスを販売し、豊かな海洋資源や美しい海の景観といった宇久のよさについてPRをした。</p> <p>評価：塩アイスの販売を通して、宇久のよさ地域の人々に伝えることができたか。</p>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元 宇久・実践 15時間中の 12 時間目

※例：単元10時間中の2時間目 / 単元15時間中の4,5時間目

### 2-2. 本時の目標

宇久島の良さが伝わるパッケージデザインを考えよう

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1 前時までの学習を確認する。	○ 塩アイス販売に向けて、パッケージデザイン（第1案）を考えてきたことを確認する。
2 本時の課題を確認し、本時のめあてを設定する。	○ 宇久の良さが伝わるように、パッケージデザインを修正する時間であることを確認する。
3 観光協会・安永さんのお話を聞き、パッケージとして必要な要素、デザインについて理解する。	○ 自分が考えてきたデザインが、パッケージに必要な要素を踏まえているか確認させる。
4 パッケージデザインを修正する。	○ 改良点を踏まえ、安永さんのアドバイスを受けながら、パッケージデザイン（第2案）を作成する。
5 本時の振り返りを行う。	○ 出来上がったパッケージデザインを発表し合い、パッケージに込めた思いを伝え合って、販売への意欲を高める。



### 3. 今回の活動の自己評価

- 昨年度取り組んだ宇久の海水を使った塩作りを起点に、塩アイスという特産品開発に挑み、これまでの活動の積み重ねが発揮される学習となった。児童の中に、宇久の良さである海洋資源の豊かさや海の美しさを特産品開発においても大いに生かそうとする意識が根付いており、宇久の良さを広く知らせたいという高い意欲を継続した活動となった。
- 宇久町観光協会や（株）前田冷菓といった外部機関との連携により、活動が充実したものとなった。特に、パッケージのデザインにあたっては、講師を招き、専門的なアドバイスを受けながら制作に取り組んだことで、自分たちの思いを伝えるために必要な要素や表現方法について理解することができ、それ以降の活動においても、伝達の仕方を工夫する意識を高めた。また、自分たちだけで解決できないことは、進んで相談したり、協力を求めたりしようとする学び手としての素質も高まった。

### 4. 今後の課題

- 自分の思いや意見を主張することはできていたが、友達の思いや意見を聞いて質問をしたり、適切にアドバイスをしたりすることは十分ではなかった。個々の課題を解決するためには、問題点を指摘したり、改善点を明らかにしたりして互いに高め合うことも必要であるという意識をもたせたい。
- 今後児童数の大幅な減少が予想されており、考えを交流する相手が限定されると思われる。交流先を見つけたり、交流しやすいオンライン環境を整備したりする必要がある。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

本校では、児童がより主体的に学び、目的意識や課題解決の意欲を高めることを主目的に、「宇久・実践」という本校独自の教科の充実を目指している。「宇久・実践」では、ふるさと教育と海洋教育が大きな柱となっており、各学年の発達段階に応じて、児童の思いを重視した活動を仕組んでいる。

また、主体的・対話的で深い学びのために、児童が自分たちで話し合いを行ったり、考えを整理したりする過程を、重視している。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。